

「ハンドトスのようにバックフリップ」

—修正稿—

初稿：さいの

修正：雨森 れに

2026/9/25

〈人物表〉

小宮 翔こみや かける

(19)

マウンテンバイク
MTB フリーライドの選手

檜島 優斗はらしま ゆうと

(30)

宅配ピザ屋「丸バツピザ」のバイトリーダー

金井 力也かない りきや

(23)

MTB 選手で翔のライバル

崎山 俊さきやま あつた

(11)

小学生

木下 浩介きのした こうすけ

(42)

丸バツピザの店長

本多 幹雄ほんだ みきお

(29)

丸バツピザの客

1. MTBフリーライド大会の会場（昼）

山あいの切り開かれた場所。山肌は大勢の観客で埋め尽くされており、まるで音楽フェスのよう。

皆、一点を見上げて声援を送っている。

観客の一人「力也ー！」

視線の先には高台と、一台のMTB。

2. スタート地点の高台（昼）

スタート目の金井力也（23）、観客に手を振って応える。

小宮翔（19）、力也の背中を見ている。鋭い視線。

力也、翔に向かって親指を立てる。

カウントダウンタイマーの音。

スタートの合図。

力也 「翔くん、またあとで！」

と、どこか余裕にスタートする。

歓声が響き渡る。

控えの選手たちが中継テレビを見つめる。

3. 中継テレビ内・走路（昼）

力也のバイク、高台の真下に落下。

縦に一回転し、鮮やかな着地。

小さなジャンプ台に乗り上げ、ほぼ垂直に置かれた壁に沿って走行。

続いて段差を飛び降り、空中でハンドルを一回転。そのまま空中で決めポーズ。

次々に技が決まっていく。

4. スタート地点の高台（昼）

選手A 「たまんねえな」

選手B 「ここで見たって技がピタッとハマるよな。しかも軽々とやっちゃうんだからよー」

選手A 「これ、どうやって勝つよ」

選手B 「技の難易度あげるしかないっしょ」

選手ら、画面に釘づけ。

翔、画面の力也を見て、自分のハンドルを見る。

5. 走路（昼）

力也、最後のジャンプ台へ。加速し、踏み切り。ハンドルを振り上げ、ジャンプ。

後方宙返りするバイク。時が止まったかのように。衝撃を感じさせない着地。軽やかな笑顔。

6. スタート地点の高台（昼）

翔、スタートラインに進む。

翔 「……いっちょ、やっちゃいますか」

と、バイクに跨る。

カウントダウンタイマーの音。

ハンドルを握る手に力が入る。

スタートの合図。

翔、踏み出す。

7. 走路（昼）

翔、力也の軌跡をなぞるように進む。

落下。縦に一回転し、鮮やかな着地。

観客、ドツと沸く。

そのまま走路へ。小さなジャンプ台。垂直の壁。大きな歓声。

空中でハンドルを二回転。空中で決めポーズ。

翔、口元に笑み。手に力が入る。

観客のボルテージも最高潮へ。

最後ジャンプ台。勢い良く進入、どんどん加速する。

力強くハンドルを振り上げ、ジャンプ。

ぐっと歯を食いしばる。

後方宙返り。

加えて両手をハンドルから離そうとする。

が、うまく手が離れない。

空中でフォームが崩れる。

着地。よろめくも、なんとか耐える。
大きな歓声。

翔、こわばった表情。

8. 控室（昼）

翔、首に銀メダル。荷物をまとめている。

選手たちの笑い声。

力也、選手たちと抱擁、握手。首には金メダル。

ふと翔、目が合う。力也、笑顔。

翔、足早に出ていく。

9. 丸バツピザ・外観（夜）

どこにでもあるチェーンの宅配ピザ屋。

10. 丸バツピザ・厨房（夜）

翔 「2位じゃダメなんです」

と、制服姿で乱暴にピザに具材を乗せている。

バイトリーダーの檜島優斗（30）、慣れた手つき

でピザ生地を伸ばしながら、

優斗 「えー、それ久しぶりに聞いた」

翔 「は？」

優斗 「あ、いや、世代じゃないか」

翔 「マイナースポーツじゃ、2位なんて最下位と一緒ですよ」

優斗 「でも翔くん日本で2位なんでしょ？ 十分すごい——」

翔 「点数はほぼ1位と一緒です」

優斗 「じゃあ何が足りなかったの？ 運？」

翔、言葉に詰まって、

翔 「……まあ、運とか、気合とか？」

店長・木下浩介（42）、やって来て、

浩介 「おい、まだか？ 宅配間に合わないぞ」

優斗 「大丈夫だって店長、翔くんがぶっ飛ばせばいいんだから」

浩介 「これマルゲリータじゃねえか。注文マリナーラだぞ？」

翔 「（注文伝票を見て）あ……」

浩介 「優斗、お前が作れ！」

優斗、急いで生地を伸ばし、宙に投げる。
生地は華麗に宙を舞う。

1 1. 丸バツピザ・表（夜）

翔、ピザの入った鞆を背負い、MTBに跨がる。
と、すごい勢いで走り出していく。

1 2. 大通り（夜）

大渋滞。クラクションの嵐。なかなか前に進まない。
翔、諦めて横道へ。

1 3. 裏路地・人気の無い下り坂（夜）

翔、人気のない裏路地を走る。
ふと、下り坂に差し掛かる。

辺りに誰もいないのを見て、ニヤツと笑う。

翔 「……いっちゃいますか」

と、ハンドルをギュッと握り、下り坂に向かい加速。
踏み切り。思い切りハンドルを振り上げる。
小さくジャンプ。控えめな後方宙返り。

マンションのベランダにいる崎山悛（11）、目を
見張る。

そのままドンッと地面に着地。

何事もなかったかのように、走り去っていく。

1 4. 悛の家・ベランダ（夜）

整備中の子供用MTBが置いてある。

悛、翔の行く先を目で追いかける。

1 5. 本多の自宅マンション玄関前（夜）

翔 「（営業スマイルで）お待たせしました。丸バツピザです」

注文した客・本多幹雄（29）、腕時計を確認。

舌打ち。ピザを受け取り、翔を見て、ドアを閉める。

翔、真顔に戻って、一息つく。

16. 丸バツピザ・外観（夜）

表には「Closed」の表示。

浩介の声「どうなってんだよ！」

17. 丸バツピザ・厨房（夜）

浩介 「なんでピザの具が全部剥がれちゃってんの！」

と、本多から送られて来たクリーム写真を見せる。

翔、反省の色は薄く、

翔 「仕方ないっしょ、急いでたんだから」

浩介 「まさかチャリンコで宙返りでもしたんじゃないだろうな」

翔 「ハハハ、まさか」

優斗、奥でピザ生地を伸ばしていて、

優斗 「**だったら逆に大丈夫でしょ**」

と、茶々を飛ばす。

浩介 「あ？」

優斗 「見てて」

と、ピザ生地に輪切りオリーブを一つ乗せ、慣れた

手つきで宙に投げる。

綺麗な円形のまま縦に一回転。オリーブは落ちない。

優斗 「遠心力が均一に働けばさ。ほら」

と、何度か繰り返す。

浩介 「お前、そんなの練習してどうすんだよ」

翔、オリーブの乗った生地を見て、何か気づいた顔。

優斗 「翔くん？」

翔 「**まかないってテイクアウトできましたよね？**」

18. 人気の無い下り坂（夜）

翔、ペランダから下り坂を見ている。

翔、ピザの鞆を背負ったまま、下り坂に向かい加速。

踏み切り。思い切りハンドルを振り上げ、ジャンプ。

後方宙返り。ドンッと着地。

と、鞆を開けて、中身のピザを確認。

ペパロニピザが蓋にくっついている。

翔、頭を掻く。

俊、急いで部屋に戻る。

19. 人気の無い下り坂（昼）

俊、見学中。傍らに子供用MTB。

翔、ジャンプ。後方宙返り。ドンッと着地。

箱を開けると、照り焼きピザの具だけが蓋に。

翔と俊、顔を見合わせる。

以下点描で。

別の日、再びジャンプ。

箱を開ける。ハワイアンピザの具がバラバラに。

俊、ピザを食べている。膝に擦り傷。

翔、俊に使い古しのプロテクターを差し出す。

照れくさそうな笑顔。

ピザの箱を投げてイメトレを始める。

また別の日、ジャンプ。

箱を開ける。マヨじゃがのジャガイモだけバラバラ。

翔 「あーもー」

と、ヘソを曲げ、走り去る。

俊、一人ピザを食べる。肘と膝には翔からもらった

プロテクター。

20. 丸バツピザ・厨房（夜）

宙を舞うピザ生地。

翔、優斗のピザ捌きをまじまじと見ている。

新しい生地を取り、飛ばす。

しかし、生地は不恰好に飛び、ぐちゃぐちゃに。

翔 「投げるコツとか、あるの？」

優斗 「簡単だよ。翔くんは力みすぎ」

優斗、薄いビニール袋を膨らます。

指で軽く押し上げると、袋がふわりと浮く。

優斗 「投げるんじゃないの、ハンドトスはハンドでトスするんだ。指先でそっと生地を撫でてあげるだけ」

翔、袋を何度かトスする。

翔、袋を何度かトスする。

最初は強く跳ねあがっていた袋が、次第にふわりと

翔 浮くようになる。
「……なるほど」

浩介、やってきて、

浩介 「注文来たぞ！ 翔、配達行けるか？」

翔 「……オッケー」

21. 人気の無い下り坂（夜）

翔、坂の上にやってくる。

俊、前輪をあげる練習中。

力任せでバランスを崩す。

翔、ハンドルを軽く握る。

前輪をあげ、納得の表情。

翔 「これか」

と、踏み出す。

勢いをつけ、俊の前を通過。

ジャンプ。

大きな弧を描く、後方宙返り。

静かに、流れるように着地。

俊、口をあんぐり。

翔、拳を突き上げ、そのまま走り去る。

22. 本多の自宅マンション玄関前（夜）

綺麗に焼き上がった具沢山のデラックスピザ。

本多、翔の顔を見て、またピザを見る。

鼻を鳴らし、ドアを閉める。

翔、嬉しそうな笑顔。

23. MTBフリーライド大会の会場（昼）

大勢の観客、翔に向かって歓声を送る。

俊、声を振り絞り、

俊 「翔くん、ファイト！！」

24. スタート地点の高台（昼）

MTBに跨った翔、手を振って応える。

翔 「……いっちよ、やっちゃいますか」

後方には力也の姿。

カウントダウンタイマーの音。

翔、振り向く。

吹っ切れたような笑顔。

翔 「力也さん、またあとで！」

お互いに親指を立て合う。

スタートの合図。

翔、地面を蹴り出す。

25. MTBフリーライド大会の会場（昼）

翔、軽くハンドルを握る。

後方宙返り。

大きな弧を描き、静かに着地。

拳を突き上げる。

歓声。観客の中に俊の笑顔。

（終わり）